



ちひろになれる！7つの法則 —技法徹底解剖—

7月12日(金)～9月17日(火)



I-1, 海とふたりの子ども 『ぼちのきたうみ』(至光社)より 1973年

これを知れば、きっと描きたくなる！
ちひろの絵のひみつ大公開

いきいきとした子どもたちの姿を、やわらかな色彩で描き続けた画家・いわさきちひろ。その絵はどのように描かれているのでしょうか。何気なく描かれているように見える作品には、さまざまな技法と、ちひろが行った工夫の数々が隠されています。

本展では、ちひろの代表的な技法を、「水の使い方」「かわいさのひみつ」「大きさを変える」「色の工夫」「引き算で描く」「線のテクニック」「モチーフを選ぶ」の7つの視点から徹底解剖します。技法を通して浮かび上がる、ちひろの作品の魅力をお楽しみください。



I-2, 貝と赤い帽子の少年 1970年



I-3, やぎと男の子 1969年

展覧会名：ちひろになれる！7つの法則 —技法徹底解剖—

会期：2013年7月12日(金)～9月17日(火)

○開館時間＝9：00～17：00(8月は～18：00)

○休館日＝第2・4水曜日(8月は無休)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

料金：大人800円／高校生以下無料

団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

展覧会の見どころ：“ちひろ”になれる技法大公開

ちひろの絵に隠されている卓越した技法を徹底解剖します。水や筆、鉛筆など、身近にある画材の使い方をほんの少し工夫するだけで、こんなに違う！驚きと発見にあふれたちひろ特有の技法を、7つの視点から紹介。これを知れば、あなたもちひろのように描ける？ かもしれません。

水の使い方 ー水をたっぷり使う

水をたっぷりと塗ったうえで水彩絵の具をたらすと、水に溶けて広がり、色と色がにじみ合います。やわらかな色彩の広がりを生む「にじみ」は、ちひろの最も代表的な技法です。



ちひろは透明水彩絵の具を好んで使っていました。

- ①ホルベイン（日本）とプルジョワ（フランス）の絵の具
②ウィンザー＆ニュートン（イギリス）の固形絵の具



ひざを抱える少年 1971年

かわいさのひみつ ー顔のバランス

ちひろが描いた子どもたちの多くは、両眼とあごを線で結ぶと、正三角形となるように配置されています。これは、誰もがかわいいと感じる黄金比率といえるかもしれません。



(左)お姉さんとあかちゃん 1971年
(右)ピンクのセーターを着た少女 1970年

線のテクニク

額から鼻までは、鉛筆を立ててシャープに描き、髪の毛は、手の力を抜いたやわらかな線で表現しています。ちひろは、鉛筆の角度や筆圧、動かす速度を変えることで、1本の線を表情豊かに描き出しています。



ちひろは、Hから4Bまでの、硬さの異なる鉛筆を使い分けていました。

←トンボ、ファーバーカステル、三菱の鉛筆



「雪のなかで」 1972年

技法いろいろ、表現の軌跡

水彩、鉛筆のほかにも、ちひろは晩年までさまざまな画材を使い、自らの表現の可能性を追求しました。本展では、パステルやインクで描いた作品、デカルコマニー*など、技法における新たな試みを行った絵本『きつねみちは天のみち』などを展示し、ちひろの技法表現の軌跡も紹介します。

*絵の具を塗った紙を押し付けて形や模様を転写する技法

ちひろの絵のひみつワークシート ー遊ぶ・楽しむ・学ぶ

会期中、展示と連動した小学生向けワークシートを配布。親子で楽しく、ちひろの技法の魅力をもとくことができます。実際にちひろの水彩技法を体験できる「夏休み体験コーナー ちひろワークショップ」とあわせてお楽しみください。

出展作品数：約60点

主な出展作品：ひざを抱える少年 1971年、やぎと男の子 1969年、『たけくらべ』（童心社）より 1971年、『ふたりのぶとうかい』（講談社）より 1969年、『ぼちのきとうみ』（至光社）より 1973年 ほか

関連イベント：●夏休み体験コーナー ちひろワークショップ

地元・松川中学生ボランティアによるサポートのもと、ちひろの水彩技法を体験します。

日時：7月27日（土）～8月17日（土） 10：00～16：00

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー

参加費：材料費100円（入館料別） 申し込み：不要（参加自由）

※プログラムの詳細は、担当（水谷・田邊）までお問い合わせください。

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14：00～14：30

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1

料金：無料（入館料別）

申し込み：不要（参加自由）

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。



II-1、『Retrothorn』より 1999年

<企画展>色の音 紙の詩

クヴィエタ・パツォウスカー展

7月12日(金)～9月17日(火)

目が喜び 心が歌う

チェコからやってきた

ふしぎな絵本

チェコの女性アーティスト、クヴィエタ・パツォウスカー(1928～)は鮮やかな色彩感覚と自由な造形感覚で見る者を魅了します。頁を切り抜いたり、異なる紙を貼ったりつなげたり、と絵本の概念を超えた作品づくりを続けています。

本展では、85歳の現在、なお意欲的に創作を続ける彼女の近作を含む絵本の原画や、紙でつくった小さな彫刻ともいえるオブジェなど、日本初公開作品を含めて展示し、その遊び心と斬新なアイディアにあふれた世界を紹介します。

言葉や年齢を超え、音楽や歌のように、見る者の心と感覚に届く作品の数々をお楽しみください。

展覧会名：<企画展>色の音 紙の詩 クヴィエタ・パツォウスカー展

会期：2013年7月12日(金)～9月17日(火)

○開館時間＝9:00～17:00(8月は～18:00)

○休館日＝第2・4水曜日(8月は無休)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4

料金：大人800円／高校生以下無料

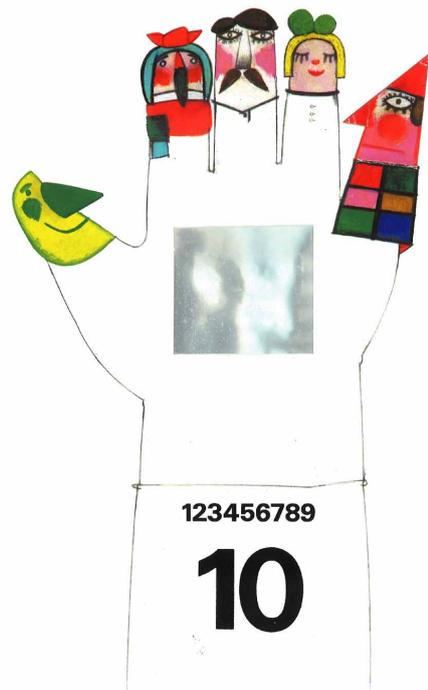
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円

主催：ちひろ美術館

後援：一般社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)、チェコ共和国大使館、CZECH CENTRE TOKYO、絵本学会



II-3、『Couleurs du Jour』より 2010年



II-2、『ふしぎなかず』(ほるぶ出版)より 1990年

展覧会のみどころ：日本初公開！ パツオウスカー 80歳以降の作品

その細い体のどこからエネルギーが湧くのかと思わせるほど、85歳の今もお出版、展示を国際的に続けているチェコの女性アーティスト、パツオウスカー。本展では特別に、作家本人より近作を借用して展示します。

ちひろ公園の池から絵本まで……形さまざま、パツオウスカーの魅力

美術館の周囲に広がる安曇野ちひろ公園の池と石のオブジェ、これも実はパツオウスカーの作品。素材を問わず、カラフルで不思議な魅力は、彼女の絵本にも共通しています。本展では、パツオウスカーの作品の根底にある考えや想いも、彼女のことばを通して紹介します。

見て、感じて、参加して ワークショップの楽しみ

夏休み期間には、地元・松川中学校のボランティアたちが、パツオウスカーの魅力を、解説ツアーとワークショップで紹介します。ワークショップを体験することで、より一層パツオウスカーの世界を楽しむことができます。



パツオウスカーの石 撮影：有賀傑

出展作品数：約80点

出展作家：



クヴィエタ・パツオウスカー Kvetta Pacovská チェコ 1928～

ブラハに生まれる。父はオペラ歌手、母は外国語教師。本と絵と音楽に囲まれて子ども時代を過ごす。ナチスの台頭によりユダヤ人の父が殺され、13歳から4年間は学校に通えなかった。戦後奨学金を得てブラハの美術学校に入学する。チェコにキュビズムを持ち込んだ画家、エミール・フィラの教室で応用美術を学び、バウハウス思想に共鳴。鋭敏な色感と自由な発想で、絵本のほか、リトグラフや立体の制作も多い。1992年国際アンデルセン賞画家賞など国際的な賞の受賞多数。

関連イベント：●夏休み体験コーナー パツオウスカーワークショップ

地元・松川中学生ボランティアによるサポートのもと、パツオウスカーの技法を体験します。

日時：7月27日(土)～8月17日(土) 10:00～16:00

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー

参加費：材料費100円(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

※プログラムの詳細は、担当(水谷・田邊)までお問い合わせください。

●パツオウスカー展作品解説ツアー

地元・松川中学生ボランティアが、展示のみどころや作品の魅力を紹介し(約30分間)。

日時：7月27日(土)～8月17日(土)

会場：安曇野ちひろ公園～安曇野ちひろ美術館 展示室4

参加費：無料(入館料別) 定員：20名

申し込み：要予約(当日館内にて受付)

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:30～15:00

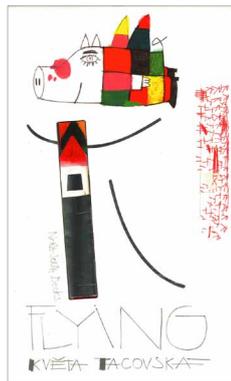
会場：安曇野ちひろ美術館 展示室4

料金：無料(入館料別)

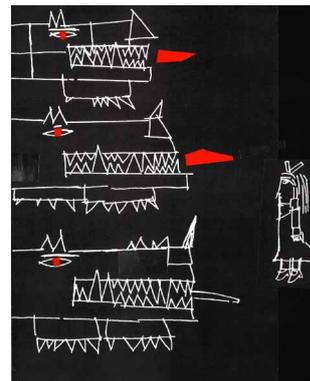
申し込み：不要(参加自由)

関連展示：2014年初夏 ちひろ美術館・東京へ巡回予定

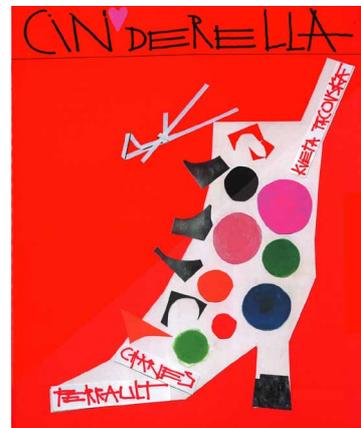
図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。



II-4、『Flying』より 1995年



II-5、『ヘンゼルとグレーテル』より 2008年



II-6、『シンデレラ』より 2009年



ちひろ美術館コレクション

貼る・塗る・摺る —絵本画家たちの技法と画材—

7月12日(金)～9月17日(火)



Ⅲ-1, エリック・カール(アメリカ) くじゃく 1991年

どうやって描いているの？
絵本画家たちの“技”と“画材”に注目！

絵本画家たちは、物語やメッセージを豊かに伝えるため、さまざまな画材や素材を用い、描き方にも工夫を凝らして作品を制作しています。本展では、普段あまり意識することのない“技法”や“画材”に焦点をあて、さまざまな画材で描かれた作品、コラージュや版画といった技法が使われた作品などを紹介します。

画家たちが工夫を凝らし、努力を積み重ねてつくりあげた、それぞれの個性あふれる表現をお楽しみください。

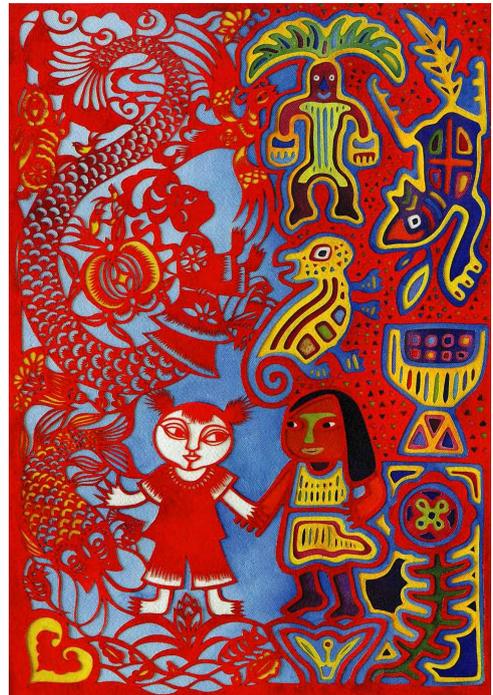
.....
 展覧会名：ちひろ美術館コレクション
 貼る・塗る・摺る —絵本画家たちの技法と画材—

会期：2013年7月12日(金)～9月17日(火)
 ○開館時間＝9：00～17：00(8月は～18：00)
 ○休館日＝第2・4水曜日(8月は無休)

.....
 会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3

料金：大人800円／高校生以下無料
 団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引き／障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円

.....
 主催：ちひろ美術館



Ⅲ-2, ウェン・シュウ(コスタリカ)
『ナディとシャオラン』より 2008年



Ⅲ-3, クラウディア・レニャッツィ(アルゼンチン) 『わたしの家』より 2001年

展覧会の見どころ：技法と画材を、楽しく学ぼう

作品とともに、画家たちが使っている道具や画材の見本、それぞれの技法や画材の特徴を紹介します。夏休みの図画・美術の宿題や、自由研究の参考にもなるかもしれません(!?)

貼る

エリック・カール(アメリカ)は、彩色した薄紙*1を、下絵にあわせてカッターナイフで切り取り、コラージュ*2して、作品を制作します。

*1 薄紙

カール自身が、筆やスプレーなどさまざまな手法を用いて薄紙に色をつけたもの。カールは、アトリエの引き出しに、色調ごとに、この薄紙を整理して収納しています。

*2 コラージュ

紙や布、立体物などさまざまな素材を組み合わせ、貼り付けて作品を描く技法。



彩色した薄紙

塗る

ピンバ・ランドマン(イタリア)は、羊飼いの少年ジョットが、画家になるまでを描いた絵本の全画面を、テンペラ*3技法を使って、祭壇画風の板絵に再構成しています。

*3 テンペラ

卵と顔料を練りあわせてつくった絵の具や、その絵の具を使って描く古典技法。



Ⅲ-4. ピンバ・ランドマン(イタリア)
『ジョットという名の少年 羊がかなえてくれた夢』
(西村書店)より 2002-2003年

摺る

ピエト・フロブラー(南アフリカ)による、フランスの作曲家サン・サーンスによる組曲“動物の謝肉祭”をもとにした絵本のための作品です。音楽で表現された動物たちの姿を、エッチング*4による軽やかな線と、水彩*5による色彩で描き出しています。

*4 エッチング

銅板を硝酸で腐食させ、インクをのせてプレス機で刷る銅版画の代表的な技法。

*5 水彩

顔料とアラビアガムを練りあわせた水溶性の絵の具。鮮やかな色彩が特徴で、透明度があり、やわらかな表現ができる。



Ⅲ-5. ピエト・フロブラー(南アフリカ)
『動物の謝肉祭』より 1998年

出展作品数：約35点

図版について：本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

- ※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。
- ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。
- ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
- ※掲載紙/誌をご送付ください。

イベント紹介

夏 休み体験コーナー ちひろワークショップ/パツオウスカーワークショップ



12回目を迎える、夏休み恒例の体験コーナー。地元・松川中学生ボランティアによるサポートを受け、子どもから大人まで気軽に楽しめるワークショップです。今年は、開催中の展示に関連し、ちひろとパツオウスカー、2人の絵本画家の技法を体験します。



日時：7月27日(土)～8月17日(土) 10:00～16:00 (最終受付15:30)
会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー
参加費：材料費100円(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)
※プログラムの詳細は、担当(水谷・田邊)までお問い合わせください。
(画像)左/海辺のひまわりと少女と小犬 1973年 右/2012年の活動の様子

パ ツオウスカー展作品解説ツアー

地元・松川中学生ボランティアが、開催中の「<企画展>色の音 紙の詩 クヴィエタ・パツオウスカー展」のみどころや作品の魅力を紹介し(約30分間)。



日時：7月27日(土)～8月17日(土) 参加費：無料(入館料別)
会場：安曇野ちひろ公園～安曇野ちひろ美術館 展示室4
定員：20名 申し込み：要予約(当日館内にて受付)
(画像)クヴィエタ・パツオウスカー『紙の町のおはなし』(小学館)より 1999年



夕 暮れミュージアム

一夜の美術館を楽しもう

共催：安曇野アートライン推進協議会、松川村観光協会

2013 8.24 SATURDAY

8月24日(土) 21時まで開館延長

浴衣でご来館の方には、1ドリンクをサービス! 公園でのすずむし捕りや、「ちょっと怖い」絵本のおはなしの会などのイベントも。美術館までのアプローチには、地元の子どもたちが絵を描いた紙袋と廃油ろうそくを使った「安曇野まほらランタン」を灯します。やさしい光でライトアップされた、夜の美術館をお楽しみください。

●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、担当学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日

14:00～ ちひろ展

14:30～ 世界の絵本画家展または企画展

参加費：無料 申し込み：不要(参加自由)

●おはなしの会

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみください。

日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30

会場：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋

料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)



撮影：橋本裕貴

●敬老の日

この日は、65歳以上の方は入館料無料となります。

日時：9月16日(月・祝) 9:00～17:00

●開館情報

8月は休まず開館します。開館時間も18:00まで延長いたします。

【次回展示案内】

2013年9月20日(金)～11月30日(土)

●ちひろのアトリエ —東京・黒姫—

●ちひろ美術館コレクション 画家たちのアトリエ